学校番号	105

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新政治・経済」　新訂版　（実教出版）						
副教材等	2021 新政治・経済資料　三訂版　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・新聞・テレビ・ネットなどから流れてくる様々なニュースを、主体的、批判的、分析的に読み解けるようになりましょう
・政治・経済・国際関係の基礎知識とともに、現実に起こっている諸課題の背景を考えることによって、自分と社会との関わりを学びましょう
・社会を構成する市民としての生き方考え方を鍛えましょう

２　学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる
・現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる
・現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせるさ

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
評価基準	・現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけている。 ・国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえながら公正に判断している。	・現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、且つ集めた情報を主体的に選択し効果的に活用している。 ・学習を通して追究した過程や結果を、的確に表現することが出来る。	・現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 主題学習	定期考査 レポート 主題学習	定期考査 ワークシート レポート 主題学習	定期考査 レポート 主題学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権	○	○	○	○	a:・民主主義の基本的原理や、日本国憲法の成立過程、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義といった基本原則に対して興味・関心を抱いている。 b:・民主主義の原理と、日本の政治機構の仕組みとの関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断している。 c:人権問題に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し、活用している。 d:日本国憲法の成立過程について、史実と関連させて適切に理解している。	定期考査 ワークシート
		・日本の政治制度と政治参加 ・現代の国際政治 ・日本の平和主義と国際平和	○ ○	○	○ ○	○	a:日本の政治機構や現代の国際社会における政治の動向、平和主義に対して、関心が高まっている。 b:国内政治と国際政治の違いを、現実の状況を踏まえて多面的に考察している。 c:選挙や国際政治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、学習のために主体的に選択している。 d:日本の政党政治について、また、核兵器と軍縮、難民問題といった今後解決すべき国際社会・平和主義の諸課題について、的確な理解を示している。	定期考査 ワークシート レポート

2学期	現代の経済	・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ	○	 ○	○	 ○	a：経済活動全般や経済の諸理論に対して関心を深め、理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。 b：現代経済の特質について多面的・多角的に考察し、現実の金融・財政問題やその解決方法について、主体的に判断をしている。 c：経済体制の現状に関する情報を、様々な手段を使い収集し、収集した資料の中から、景気変動や金融・財政政策などの学習に必要な情報を主体的に選択して活用している。 d：資本主義経済の特質について的確な知識を有するとともに、グローバル化した現在の世界経済の現状に対しても十分に理解を示している。	定期考査 ワークシート レポート
		・現在の日本経済と福祉の向上 ・現在の国際経済	 ○	○	 ○	○	a：日本経済が置かれている現状に対して深い関心を抱き、グローバル化した国際経済の特質を意欲的に追究している。 b：戦後日本経済史との関連の中で、労働問題や国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を、労使関係や社会保障を題材として的確に判断し、競争原理を前提としたグローバル化の弊害についても的確な判断を示している。 c：社会保障や国際経済の動向などに関するデータを白書類から収集し、課題解決の手段として活用している。 d：日本経済・国際経済の現状と課題に関して十分な知識を有するとともに、課題を解決する様々な方法に対して理解を示している。	定期考査 ワークシート レポート

3学期	現代社会の諸課題	・現代日本の諸課題 ・国際社会の諸課題	○	 ○	○	 ○	a：現代日本および国際社会の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、望ましい解決の在り方を客観的に考察しようとしている。 b：諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断している。 c：諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。 d：日本の政治や経済、および、国際社会における諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。